

## 4. 第41回大会報告

松尾 理 (近畿大学医学部第二生理学教室)

2009年7月24日・25日大阪国際交流センターで第41回日本医学教育学会大会を開催した。大会参加者は約800名で、公募一般演題は口演213題、ポスター130題の計343題であった。

特別講演は高久史磨先生(自治医大), Edward Krupat 教授(Harvard大学), Novack 教授(Drexel大学), また教育講演は神津忠彦先生(東京女子医大), 大谷尚先生(名古屋大学), 高階経和先生(臨床心臓病学教育研究会理事長)にご講演頂いた。

シンポジウムでは8つのテーマについて熱い討論を繰り広げた。大会前日に4つのプレコングレワークショップを行った。市民公開講座では、日野原重明先生にご講演頂いた。学会の委員会が主催するプログラムとして、日韓医学教育学会交流招請講演と、インターナショナルセッションがあった。

ポスター発表130題について、参加者による投票を行い、ポスター優秀賞を選出し、4名の方が閉会式で表彰された。

運営は本学教職員や学生が行ったが、プログラムや運営について参加者にアンケート調査した。その結果「良い」という回答が最も多かったのは特別講演、教育講演、シンポジウム、ランチョンセミナーなどで、プログラムの構成全般についても「良い」とする回答が最も多かった。プログラムの間に入れたインターミッションについては、「良い」という評価が一番多かった。残念なことに、一般口演に関しては「普通」とするものが一番多かった。学会運営の中で、「良い」という回答が最も多かったのは、受付関係、スタッフの働きぶり、会場関係(照明・音声など)で、近畿大学が手作りで学会を運営した様が窺えるような結果であった<sup>1)</sup>。

### ■文 献

- 1) 松尾理:「第41回日本医学教育学会大会の運営と評価」, 医学教育 2009; 40(6): 478-81.